

<p style="text-align: center;">教育目標(めざす児童生徒像)</p> <p>学校教育目標 「かがやく阿波っ子」 めざす児童像 考える子 がんばる子 やさしく思いやりのある子 郷土を愛する子</p>	<p style="text-align: center;">今年度の指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な学習内容を確実に習得させるとともに、思考力・判断力・表現力を育むために、言語能力を育成し、知識・技能を活用する学習を充実させる。</li> <li>・運動を通じて体を鍛えるとともに、家庭と連携して社会生活を送る上で必要な規範意識や健康的な生活習慣を形成させる。</li> <li>・一人一人の人権を大切に、認め合い、支え合い、ともに生きる力を養う。</li> <li>・地域の自然や文化を生かした学習や地域の人々との交流を通じて、ふるさとを大切に、自然を愛し、感動する心を育てる。</li> </ul>
<p>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</p>	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国 国語A・算数A・算数Bについては、県平均を下回った。 国語Bについては、県平均・全国平均よりかなり高い結果であった。 国語の漢字や算数の計算など、基礎的な学習の定着が十分でない。 国語の領域別では、「書くこと」以外の「話すこと・聞くこと」、「読むこと」は全国平均より高い。 算数の領域別では「数と計算」、「数量関係」に課題がある。</p> <p>県 国語・社会・数学・理科の全てが、県平均を下回った。 社会の基礎的な問題については、県平均を上回った。 領域別の国語では、特に「書くこと」に課題がある。 領域別の社会では、「歴史」以外は県平均を上回っているか、同レベルである。 領域別の算数・理科は、全て県平均を下回っている。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>全国 「(7)将来の夢や目標を持っている」児童の割合が県平均より多い。 「(11)平日にテレビやDVD等を2時間以上見る」児童の割合が県平均より少ない。 「(12)平日にテレビゲーム等を1時間以上する」児童の割合が県平均より少ない。 「(15)平日に学校以外で1時間以上勉強する」児童の割合が県平均よりやや多い。 「(16)土日に学校以外で1時間以上勉強する」児童の割合が県平均より少ない。 「(53)国語が好き」と回答した児童の割合が県平均より多かったが、「(73)算数が好き」と回答した児童の割合は、県平均より少なかった。 「(55)国語の内容がよくわかる」と回答した児童の割合が県平均より多かったが、「(75)算数の内容がよくわかる」と回答した児童の割合は、県平均より少なかった。</p>
<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <p>放課後補充学習や朝学習の成果が少しずつあらわれてきている。 漢字や計算などの基礎的な学習が十分に定着していない部分がある。 少人数の利点を生かした、児童の考えを表現したり、交流したりする授業が展開できている。 反対に、少人数のため多様な考えに触れる機会が乏しく、また、自分の考えを他人に分かりやすく伝える力が育ちにくい。 家庭での学習時間は、県平均を上回っている。しかし、学校からの宿題が家庭学習の中心になっている児童が多い。 学校生活は、全体的に落ち着いており、児童は課題に対してまじめに取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: center;">課題に対応した改善方法</p> <p>基礎的・基本的な内容が十分定着していない部分は、朝学習や放課後等を利用して補充指導を行う。 自分の考えをノートにまとめる活動を行い、授業の中で、他の人に考えを分かりやすく表現する学習を重視する。 教師は、児童から多様な考えが出るよう、手だてを用意する。 家庭学習の充実を図るために、「家庭学習の手引き」を作成し保護者に協力を求めるとともに、学校からの課題を工夫する。 少人数のため、学校行事等に係る時間が多くなる。準備や練習に費やす時間が短くなるよう工夫し、教科学習の時間が標準時数以上確保できるようにする。</p>
<p style="text-align: center;">取組の検証方法及び検証時期</p> <p>学力定着状況たしかめテストの実施(12月)・・・5年生 児童への学習についてのアンケート実施(各学期) 単元たしかめテストによる学習状況の確認(各学期) 標準学力テストによる取組の成果を検証する。(3学期)・・・全学年</p>	<p style="text-align: center;">達成目標(数値目標)</p> <p>標準学力テストで、1学期の成績を上回るようにする。 単元たしかめテストで、80%以上の正答になるようにする。 児童アンケートで、全ての児童が、「国語・算数の学習が好き」と回答できるよう、授業の充実を図る。</p>